かの日の歌【四】

漢那浪笛

青空文庫

◉

ささへかねたる苦痛の重さ！
心と肉とは、時ふるへり。

年わかき悲哀（かなしみ）とそのきほひは、
何日（いつ）きゆべき！　あわれ迷はしきかな。

人通りの繁（しげ）き町へゆかむ、
南！旧暦十五夜の黄金（こがね）の涙を
たゝへし町へ！

そこにはあまき女（ひと）の声、
暗の中に紅きルビーの如くゆれる。
吾れはそこにゆかむ、かわほりの如く、
――そこに歓楽の響きを聞くべし！

青空文庫情報

底本：「沖縄文学全集　第1巻　詩※［#ローマ数字1、1-13-21］」
国書刊行会
　　1991（平成3）年6月6日第1刷
初出：「琉球新報」
　　1911（明治44）年12月10日
※初出時の署名は「浪笛生」です。
入力：坂本真一
校正：良本典代
2016年12月9日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

かの日の歌【四】

漢那浪笛

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/